

第七次甲府市総合計画説明会 会議録（玉諸地区）

日 時	令和8年6月1日（月）午後7時00分～午後8時00分
会 場	玉諸小学校体育館
参 加 者	122名（市長等及び関係職員含む）
次 第	1 市長説明 2 意見交換 3 地区からの挨拶
意見交換記録	
質問	・防災・減災対策について 玉諸地区は交通量が多く、通勤・通学の時間帯の渋滞や生活道路への車の流入やスピード超過など、交通安全の面で課題が生じている。 また、地区の中央を濁川が流れており、大雨の際には内水氾濫や排水能力の不足が心配されるとともに、住宅が密集し、道路幅が狭い場所も多いため、災害時の避難経路の確保や、緊急車両の通行に不安がある。 第七次甲府市総合計画において、玉諸地区の防災・減災対策をどのように考えているか、具体的にお示しいただきたい。 特に、避難所の機能強化、地域防災組織との連携、道路環境の改善など、住民の安全に直結する取組について、市としての考えを伺う。
樋口市長	第七次甲府市総合計画に「安全・安心で快適な『まち』を創る」を掲げ、「災害などへの対応」や「市民生活を支えるインフラの整備・更新」等を踏まえた各般の施策に取り組むこととしている。 とりわけ玉諸地区については、新しい住宅が増え、環境が大きく変わっていると認識しており、こうした中、近年、激甚化・頻発化する水害への対策の重要性に鑑み、過去に浸水にあわれた玉諸地区を皮切りに「水害避難の地区研修会」を皆様の協力を得る中で開催し、地域住民を中心とした避難所開設訓練等の「共助」につながる研修を行ってきたところであり、引き続き、地域の実情や意向に沿った「地区防災研修会」や「防災に関する出前講座」を開催するなど、玉諸地区の皆様と連携しながら、地域防災力の向上に努めていく。

質問 子ども未来部長	また、良好な避難所環境の確保などを目的として、令和９年度に玉諸小学校体育館への空調設備の整備を実施するほか、地域における「防災・減災」の中心的な役割を担っていただいている、玉諸分団の活動の中核となる本部拠点施設を、「へいりん荘敷地内」へ令和９年度を目途に建て替えを実施していく。 加えて玉諸左岸・右岸の排水機場については、水害に備え、年６回の定期点検を毎年実施し、特に右岸排水機場においては、令和５年度に排水ポンプを更新したところである。 また、濁川の支流であり、地区内を流れる河川の一つである野間川については、排水能力を向上させるための改修工事を年次的に進めており、今年度も工事を実施している。 また、併せて道路については、有事の避難・輸送路としても活用できるよう、城東バイパスと青沼通りを結ぶ「市道国玉通り線」を地域の皆様のご協力をいただく中で、令和４年度に供用開始したほか、道路を構成する重要な施設である橋梁の長寿命化を図るため、国里橋において測量・設計に着手し、令和１０年度に補修工事を実施するとともに、生活道路や通学路へは地域要望に基づき、グリーンベルトや路面標示の設置などを行い、安全に利用できる道路環境の確保に努めてまいりたい。 今後においても、こうした玉諸地区の安全の確保に取り組むとともに、多様化・複雑化する社会情勢や地域の変化を見据える中で、玉諸地区の皆様のご意見を伺いながら、「安全・安心」を実感していただけるまちづくりに鋭意努めていく。 ・第七次甲府市総合計画における子育て支援について 玉諸地区では、子どもクラブをはじめとした子育て活動も活発で、世代間交流が日常的に行われており、地域のつながりが比較的強いことが、この地区の特徴でもある。 甲府市では第七次甲府市総合計画において、子育て家庭への支援、世代間交流の促進について、市として地域団体とどのように協働し、どのような仕組みづくりを進めていくのか。特に、地域活動が比較的活発な玉諸地区に対して、どのような支援や連携強化を想定されているのか、ご見解を伺う。 玉諸地区においては、キャンプ研修や信玄公祭りでの武者行列への参加をはじめとした子どもクラブ活動や青少年育成甲府
--------------------------	--

	市民会議での取組など、子どもに関する活動に積極的に取り組んでいただいております、心より感謝申し上げます。 地域で子育て・子育てを支える環境づくり、機運の醸成は非常に重要であり、本市においても、地域と協働した様々な子育て支援・子育て応援の取組を進めているところである。 ご質問の子育て家庭との世代間交流を促進しながら、地域ぐるみで子育てを支援していく仕組みづくりとしては、知識・経験が豊富な高齢の方や育児経験者により「子育て・お助け隊」を編成し、市内で活動する子育てサークル等の要請に応じて、派遣・子育て支援を行っており、世代間の交流を図りながら、子育て支援につながる取組を進めている。また、市で委嘱をしている、ひとり親家庭相談員の皆様方には、支援を必要とされるご家庭の身近な相談相手として活動いただいております、多くの方から、今後も相談員の支援を希望したいというお声をいただいている。 さらに、子ども自身の育ちを社会全体で応援する甲府市子ども未来応援条例に基づき構築した「子ども応援プラットフォーム」では、数多くの子ども応援団体や民間企業等との連携・協力により、スポーツ分野から舞台演劇などの文化・芸術分野にわたって、子どもの体験機会を創出し、多くの子どもたちに参加いただいた。 次に、玉諸地区における取組については、地域子育て支援センター「にこにこバンビーニ」において、育児相談や季節の行事、年齢別サークル活動などの様々な取組が行われており、地域全体で子育て世代を支援し、子どもを育てる仕組みが構築されていると考えている。この「地域子育て支援センター」の設置については、「次世代育成環境ランキング」3年連続総合1位となったことの要因の一つとなっている。 また、アセラ玉諸悠遊館で開設している「甲府学びくらぶ」では、子ども応援プラットフォームに登録いただいている子育て応援者や大学生、高校生のご協力のもと、小中学生を対象とした学習支援や居場所づくりに取り組んでいるほか、玉諸地区で活動されている、プラットフォームへの登録団体の皆様には、本市の様々な取組に参加いただき、こどもを育むまちづくりのための一翼を担っていただいている。 こうした取組は、第七次総合計画の施策に位置付け、ブラッ
--	--

質問	シュアアップしながら充実させるとともに、引き続き地域の皆様とも連携・協力しながら、より一層子育て支援、子育て応援の取組を推進していく。 ・自治会との協働について 玉諸地区の自治会加入率は52%で、市内31地区の中でも下位に位置している。市民や地域団体との協働が不可欠であり、私たち自治会連合会としても、地域の課題を共有し、行政とともに解決に向けて取り組む姿勢を持っている。 しかしながら、現状、情報共有のタイミングや内容、意見を反映する仕組みについて、まだ改善の余地があると感じている。 今後、市として自治会や地域団体との協働をどのように強化し、地域の声を計画の推進に反映していく仕組みをどのように整えていくのか。特に、定期的な意見交換の場の設定、地域課題の共有方法、行政と地域が一体となって取り組む体制づくりについて、市の方針をお聞かせいただきたい。
市民部長	本市では、自治会をはじめとする市民団体、企業、大学など、多様な主体と連携した「協働のまちづくり」を推進している。 これまでも、自治会連合会との意見交換のほか、市民の方や各種団体と様々なテーマについて対話を行う「よっちゃばれ放談会」を開催し、市民の声を原点としたまちづくりに取り組んできたところである。 また、本市職員が地域に出向き、自治会役員をはじめとする市民の方との意見交換を行うことにより地域課題の共有を図るとともに、令和6年度からは課題の解決に向けた研修会や意見交換の場を設けるなど、協働のまちづくりを推進してきた。 加えて、令和7年2月に配付した各地区における人口統計をはじめ、高齢化率や自治会加入率などをまとめた「地域カルテ」や、地域における医療機関・公共施設などを見える化した「地域資源マップ」を活用し、課題の解決に主体的に取り組む地域と意見交換を行う中で、伴走支援を始めたところであり、こうした活用事例を周知することにより、取組を強化していく。 今後においても、地域の皆さまとの対話や情報共有を重ねながら、協働支援センターなどを活用し、地域と行政が連携・協力する中で地域課題の解決に取り組んでいくので、引き続きご

質問	協力のほどお願い申し上げます。 ・災害時における被災者救助のための資機材供与について 私は、防災リーダーを務めている。災害時、避難所へ避難する前に被災してしまっている方々を救うための方法などをご教示いただきたい。 また、被災された方々を救助するための資機材の供与についてもご検討いただきたい。
危機管理監	甲府市では「要支援者名簿」を作成し、自治会連合会などとも共有している。ぜひ、本名簿をお使いいただき、要支援者情報については、事前に把握をお願いしたい。 また、水害研修において、有事の際のタイムラインを決めていただくという実習も行っており、地域・家庭での浸透を図っている。 さらに、玉諸地区については、各単位自治会に地区ごとの計画を作成いただいた経過があるので、その成果品をお示しし、自治会ごとの危険箇所を把握していただく支援もさせていただく。 なお、「宝くじ協会」において防災備蓄品を支援する制度があるので、改めてご申請の案内をさせていただきたい。
質問	・通学路の危険箇所点検について 大阪府北部地震の際、ブロック塀が倒れ女児が犠牲となった。当時、ブロック塀の点検を行ったが、8年が経過し、通学路において危険箇所があると感じられるので、対応いただきたい。
まちづくり部長	平成30年の大阪府北部地震において、ブロック塀が倒壊する事故があった。その際、道路面から1mを超え、危険性があるブロック塀については調査し、所有者にお話をし、補助制度を紹介する中で、改善をお願いした。 現在も、通学路点検事業を行っているので、今回ご心配いただいている危険箇所を教えていただき、確認させていただきたい。
質問	・猛暑対策として小学校への冷凍庫整備について 小学生は通学においてネッククーラーを持参して登校するケ

企画部長	ースが多いが、下校時には機能を果たしていない。現在、小学校のPTA執行部において、冷凍庫の購入を検討しているが、市の見解を尋ねる。 文部科学省や山梨県教育委員会から暑さ対策に関する指導をいただいている。今回の件については、本市教育委員会に確認し、後ほどまたご連絡させていただきたい。
質問	・鯖江市の眼鏡を使用する機会について 鯖江市と協力協定を結び、地場産業のジュエリーとの相乗効果が期待されているが、鯖江の眼鏡を子どもたちが使う機会を創出していただきたい。
産業部長	福井県鯖江市とは、今年の4月に連携協定を結んだ。内容は、鯖江の眼鏡と甲府のジュエリーを連携させ、互いの地域産業の育成を図るものである。 その中で、人材確保・育成という観点も重視されているので、子どもたちにもいろいろなものに触れ、体験してもらい、興味を持っていただくという、本日いただいたご意見を参考に鯖江市との協議を進めてまいりたい。
質問	・危険箇所の点検整備について 濁川沿いに危険箇所があるので、対応をお願いしたい。
まちづくり部長	現地を確認させていただいた上で、どのような対応ができるのかお話をさせていただきたい。後ほど、危険箇所の詳しい場所をお教えいただきたい。
樋口市長 (まとめ)	本日は、貴重なご意見等をありがとうございました。 玉諸地区は発展が著しい地域で、新たな課題が毎年出てくると思う。 アセウ悠遊館での「たまもろミーティング」の開催など、地域のきずなを深め、皆で同じ方向を向いて取り組んでいただいていることに、市長として感謝を申し上げる。 今後も、皆様方の活動に多くを学ばせていただき、各課題を共有する中で、安全・安心なまち、そして子どもたちが地域で

	育まれるまちづくりを進めてまいりたい。 この玉諸地区が未来に向かって伸び、住民の皆様が快適に過ごしていただいて、行政もそれによって成長できるように協力していくので、よろしくお願い申し上げます。
地区からの挨拶要旨	
玉諸地区自治会連合会会長	樋口市長をはじめ、職員の皆様にはお忙しい中、お越しいただいてありがとうございました。 また、第七次総合計画を大変分かりやすく示していただき、お礼申し上げます。 先ほどの質疑のとおり、この地区では様々な課題を抱えているが、そのような中でも、各団体の皆様が日頃より、安全安心や子育て支援について一生懸命取り組んでいただいております、私も自慢できる地域である。 今回の説明会の内容を情報共有しながら、甲府市に、玉諸地区に住んでよかったという方が1人でも増えるよう、尽力していく。 最後になるが、甲府市のますますのご発展と、皆様のご健勝を祈念申し上げ、参加者を代表しての挨拶とさせていただきます。